

5S 活動の目的

5S 活動は、単に職場をきれいにするだけでなく、業務の効率化、安全性の向上、従業員の意識向上を目指しています。特に製造業やサービス業において、5S 活動は生産性を向上させるための重要な手法として広く採用されています。また、うおーむでも、子どもたち・従業員が清潔な環境で過ごすために必要な取組と考えて取り組んでいます。

5S の 5 つの要素

1. **整理(Seiri)**: 必要なものと不要なものを区別し、不要なものを排除すること。これにより、職場の無駄を減らし、効率的な作業環境を整えます。
2. **整頓(Seiton)**: 必要なものを決められた場所に、決められた量だけ配置し、いつでも使える状態にすること。これにより、作業の効率が向上します。
3. **清掃(Seisou)**: 職場を清潔に保つための活動。定期的な清掃を行うことで、作業環境を快適に保ちます。
4. **清潔(Seiketsu)**: 整理・整頓・清掃を維持するための基準を設け、職場環境を常に良好に保つこと。
5. **しつけ(Shitsuke)**: 5S 活動を定着させるための教育や訓練を行い、従業員の意識を高めること。これにより、5S の実践が日常的な習慣となります。

5S 活動の効果

- **業務効率の向上**: 整理整頓された職場は、必要なものをすぐに見つけやすく、作業の無駄を減らします。
- **安全性の確保**: 清掃や整頓が行き届いた職場は、事故や怪我のリスクを低減します。
- **従業員の意識向上**: 5S 活動を通じて、従業員の職場に対する意識が高まり、モチベーションの向上につながります。

5S 活動は、職場環境を改善し、業務の効率化を図るための強力な手法であり、さまざまな業種での導入が進められています。